

| 項目      | チェック内容  | A  | B | C | D  | 現状と課題  | 今後の取組み   |
|---------|---|--|---|---|--|--|--|
| ①       | 教育課程<br>カリキュラム・マネジメント<br>※教科等横断的な視点で教育内容を組織し、PDCAサイクルを確立しているか。  |  |   | ○ |  | 児童の実態に応じた学習内容を設定し、学習の定着をめざし自己点検を行っている。                       | 10月の学習フェスタをPDCAサイクルのチェックの場と位置付け、教育課程を見直す。                              |
| ②       | 単元<br>単元の学習過程<br>※単元等のまとまりで問題解決的な学習過程を仕組んでいるか。  |  | ○ |   |  | 児童の関心・意欲が持続する学習課題の設定を行っている。                                  | 算数科では日常生活の中から学習課題を設定し、児童の関心・意欲が持続するように工夫していく。                          |
| ③       | 課題提示<br>④<br>⑤<br>⑥<br>⑦<br>⑧<br>⑨<br>⑩<br>⑪  | 単元全体の見通しと現在地の把握<br>※児童生徒に学習の道筋を理解させているか、前時の復習をさせているか。                      |   | ○ |  | 単元初めに前学年までの既習事項の振り返りをするともに、単元全体の見通しやその中の位置づけへの意識も少しずつできてきた。  | 算数だけでなく、多くの教科で単元全体の見通しを持たせていきたい。前時の振り返りを効果的に入れていく。                     |
| ④       |   | 本時の学習課題の把握<br>※児童生徒に解決すべき本時の課題を明確に把握させているか。                                |   | ○ |  | 授業の初めに前時を振り返り、児童とともに考え、めあてを設定できることが増えてきた。                    | 児童の最終的な記述につながり、主体的な学びにつながるような課題の工夫を行っていききたい。ICTも効果的に活用したい。             |
| ⑤       | 1 単位時間<br>学習活動（課題解決）  | 個別の課題解決学習(PersonalWork) *<br>※課題解決の時間や場を確保しているか。                           |   | ○ |  | 自分の考えを持つための「一人でタイム」を設定し、見通しを持たせながら、自力解決をする時間を確保している。         | 意欲が高まり、多様な考えが出せるような課題の提示が大切である。一人ひとりの考えを大切に、さらにほめる場面を多くして十分に時間を確保する。   |
| ⑥       |   | グループによる課題解決学習(GroupWork) *<br>※課題解決に向け、複数意見からひとつの意見にまとめるような話し合いの場を仕組んでいるか。 |   | ○ |  | 内容や方法を示すことで有意義な意見交流ができるようになってきた。話し合いの視点などを与えながら進めている。        | まだ話し合いがスムーズにはできていないのでマニュアル等を利用するなどして、交流の仕方を身につけさせたい。                   |
| ⑦       |   | クラスによる課題解決学習(ClassWork) *<br>※各グループの意見を生かした話し合いを仕組んでいるか。                   |   | ○ |  | 学級全体での「みんなでタイム」では、グループからの意見が活発に交わされ、全体学習につながるようになってきた。       | 支持的雰囲気づくりにつとめ、発表の意欲を持たせる。意見を出しあうだけでなく、課題の解決となるように意見を交流させていく。           |
| ⑧       |   | 教師による解説、解決、解答<br>※児童生徒の学びを深め、理解不足を補う説明を行っているか。                             |   | ○ |  | 児童の学びの実態に合わせてながら、具体物・半具体物やICT機器を使い、子どもたちの学びを支援し、深める工夫がされていた。 | 教師が話しすぎないように簡潔な言葉で説明するように心がける。児童の言葉を使うなどして、まとめていくようにする。                |
| ⑨       |   | 子どもの最終的な記述(表現)<br>※本時の学習課題と対応した記述(表現)をさせているか。                              |   | ○ |  | 学習のめあてやキーワードなどを押さえながら本時の学習を振り返り、自分の言葉でまとめ、記述しようとしている。        | 自分なりにしっかり書けるようになってきているので、キーワードを示しながらまとめさせていく。                          |
| ⑩       |   | 学習の振り返り<br>※学んだことの整理や自己評価の場を設定しているか。                                       |   | ○ |  | 学んだことを自分なりにまとめ、それを生かして問題に取り組むことができる児童が増えた。                   | まとめの記述とは別に、学び方や気づきなどを振り返らせたい。よい振り返りの例を紹介していきながら定着を目指す。                 |
| ⑪       | 条件に応じた記述(書く力)<br>※条件付きの書く活動を授業の中に仕組んでいるか。   |  | ○ |   | 条件を押さえながら書く力は伸びてきているが、示された条件を十分に満たしていないものがあった。 | 授業やわくわくタイムの中で、条件を付けた書く活動を日常化して実践していく。                        |  |
| ⑫       | その他<br>⑬<br>⑭<br>⑮<br>⑯   | 言語活動を活発にする教育環境<br>※学習活動を活発にするために掲示物等の教室内外の環境を工夫しているか。                      |   | ○ |  | 聞き方、話し方、話し合いの仕方など考えを表現する道筋がわかるような掲示物を教室に掲示し、授業に生かしている。       | 学習活動を活発にする掲示物は担当が行い、学びの足跡をしっかり残すようにする。学習開発部を中心に、言語活動を充実させる掲示物を校内に掲示する。 |
| ⑬       |   | ノート指導<br>※学校や教師の指導の意図を反映させたノート指導を行っているか。                                   |   | ○ |  | 学習過程や自分なりの思考が視覚化できるノート指導を行っている。分かりやすくまとめようとする児童が増えている。       | よいノート例を校内に掲示し、参考にさせる取組を行っていききたい。学習課題・まとめは必ず書かせていく。                     |
| ⑭       |   | 学習規律<br>※児童生徒に学習規律を理解させ、主体的に守らせようとしているか。                                   | ○ |   |  | 学習のはじめと終わりは、立腰の姿勢と挨拶ではじめ、学習に集中し主体的に学ぼうとする態度が身に付いてきた。         | 立腰を基本に、「時間になったら席に着く」「休み時間に学習準備」等の約束事を全職員で共通理解し、徹底して指導をする。              |
| ⑮       |   | 家庭学習<br>※単元の指導内容や方法と結びついた課題を出しているか。  |   | ○ |  | 宿題などは、家庭の協力を得ながらきちんとやり遂げることができている。自主学習への取り組みも増えてきている。        | 自主学習には予習的な内容を取り組むように勧めたり、苦手教科のプリントなども加えて取り組ませる。                        |
| ⑯       |   | 学習内容の定着<br>※学年間・小中間における教科の系統性を見直し、復習の時間を計画的に仕組んでいるか。                       |   | ○ |  | 授業におけるまとめや習熟、単元末の習熟の時間を確保し、家庭学習での復習も取り入れながら定着を図っている。         | 苦手な単元の定着を図るために、放課後を利用し補充の時間や個別指導を行っている。                                |
| その他の取組み | 自主・自律(自分で考え、正しく判断し、行動する力)を児童に身に付けさせるために、「玉みがきそうじ」に取り組み、「がまん玉」「親切玉」「見つけ玉」「感謝玉」「正直玉」を磨いている。「わくわくタイム」を週3回時間を設定し、児童の基礎学力(読み・書き・計算)の定着に取り組んでいる。読書100冊運動や、詩の暗唱、校内環境整備(よいノート例の掲示等)を行い、言語活動の充実を行っている。 |  |   |   |  |  |  |

\* PW・GW・CWについて順序性はない。授業のねらいと児童生徒の実態に応じて組み合わせる。